

※本資料のダウンロードはどなたでも可能ですが、無断での転載・複製を禁じます。
※自治体や病院、事業所など、団体として使用や配布を希望される場合は、事前に
京都市高次脳機能障害者支援センターまでお知らせください。

京都市高次脳機能障害者支援センター 高次脳機能障害入門講座 ダウンロード版資料

4 失語症



入門講座4では、
(1)失語症の症状と対応について
(2)まとめ～コミュニケーションの工夫～

高次脳機能障害の全般的なことや利用できる制度などについては、入門講座1～3を参照してね。

「地域に帰る」(地域リハビリテーションの推進)を
モットーにした
京都市地域リハビリテーション推進センターの
PRキャラクター。

1

(1) 失語症の症状と対応について

ここでは、失語症の症状と、
それぞれの症状に合わせた
対応について見ていくよ。



2

失語症とは・・・

知能など他の能力の低下がないにも関わらず、言葉を操る能力だけが障害されること

(※原因疾患は他の高次脳機能障害と同じ:入門講座1を参照)

「聞く」「話す」「読む」「書く」の全ての機能が、程度の差はあれ障害されることがほとんどである

補足)

- ・他の能力低下による言葉の障害とは、口唇や舌の麻痺、小脳失調による発音の障害(構音障害)や難聴などにより音の弁別が難しいなどです。
- ・認知症とは異なります(判断力、見当識は保たれています)。

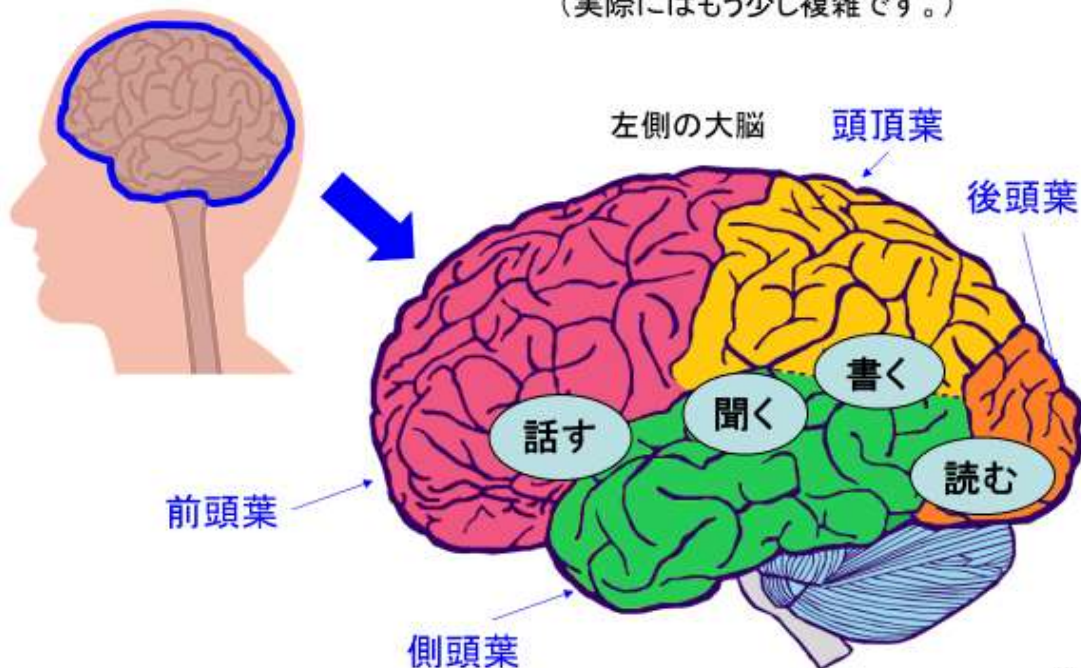
3



失語症は「話す」ことが障害されるイメージが強いかもしれないけど、実際は言語に関する様々な症状が出るんだよ。

言葉を操るために大事な脳部位

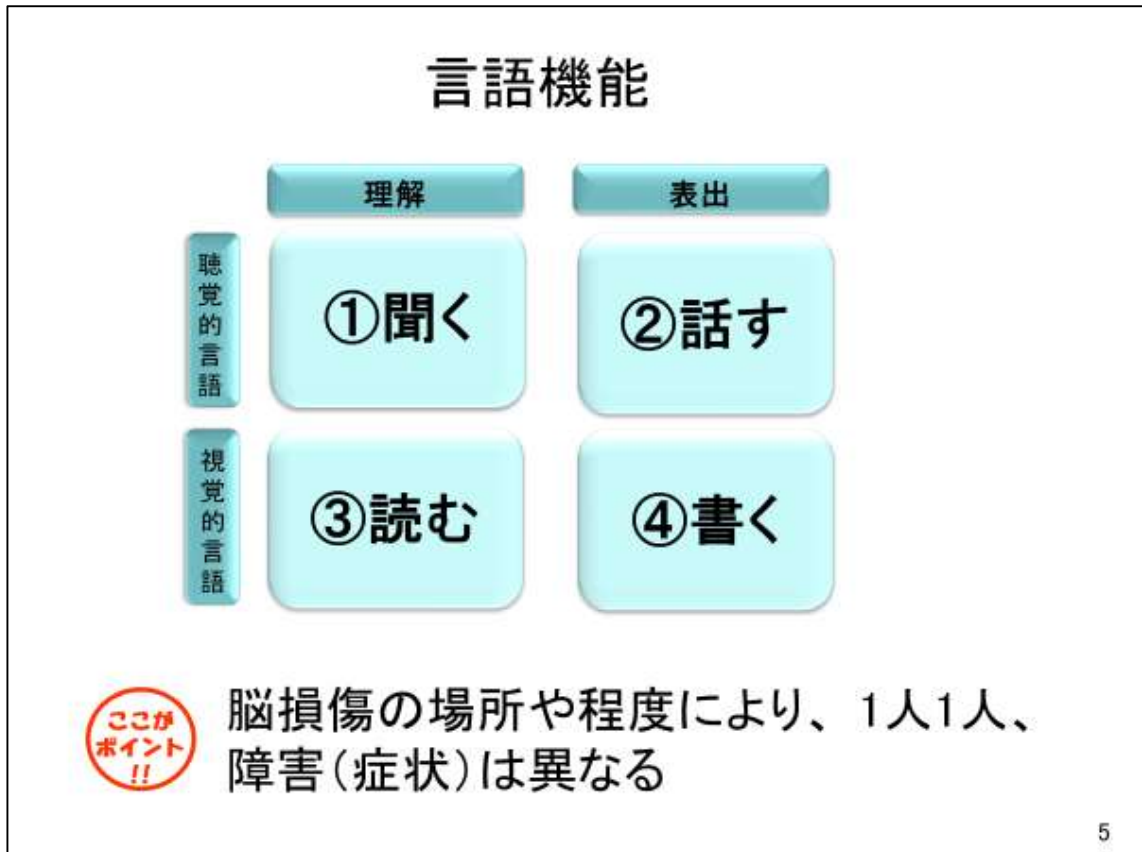
(実際にはもう少し複雑です。)



4



言語機能、運動や感覚、記憶など人間が持つ高度な機能は大脳が担当しているんだ。右利きの人のおほとんどが、左脳に言葉を操るために大事な脳部位があるんだよ。



失語症の言語症状について、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの機能に分けて見ていくよ。

①言語症状『聞く』

(前提:除外項目)
 症状を正しく理解するために、下記の項目による症状でないことを確認する

- ・聴力の低下
- ・言葉の音を区別できない
- ・単語や文法の知識がない
- ・長い文を頭の中に留めておくことができない
(ワーキングメモリーが関連)

6



たとえば、幼児や小児などでは、単語や文法自体の知識が少ない状態なので、失語症の症状なのか、学習段階の過程によるものなのかを見極めることが重要だよ。

失語症によるものなのか、単語や文法の知識が乏しいことによるものかは、「話す」「読む」「書く」でも確認がいるよ。

①言語症状『聞く』

こんな症状

- ・言葉の意味が理解できない
(真似して言っても(復唱)、理解できていないこともある)
- ・文法を理解できない
- ・長い文を頭の中に留めておくことが難しい
- ・言葉の音を判別できない(語彙) ←まれな症状



対処法 ※対処法の具体例は次ページ~を参照

- ・ゆっくりと、はっきりと話す、口元を見せる(読唇)
- ・話題を急に変えない(話題を変えることをきちんと伝える)
- ・わかりやすい言葉で、簡潔に短く話す
- ・伝わっていない時は、繰り返す、または言い回しをかえる
- ・文字や絵を書いて示す
- ・表情や身振りも活用する

7



「文法を理解できない」の例として、「△△に〇〇で触ってください」の場合、聞いた単語の順番に理解してしまうことが多く、△△と〇〇が逆になってしまう場合があるよ。また、「可能性がないというわけでもない」などの二重否定も失語症の方にとっては難しいよ。

①『聞く』の対処法の具体例

わかりやすい言葉で、簡潔に短く話す

「検温してもらっていいですか」→「熱を測ります」など

伝わっていない時は、繰り返す、または言い回しをかえる



生年月日はいつですか？



誕生日はいつですか？

お年はいくつですか？
生まれた年の干支は何ですか？ など 8

①『聞く』の対処法の具体例

文字や絵を書いて示す



A.「明日の訪問時間は、いつもの2時から3時に変更になりました」

明日(○月○日)
~~2時~~ → 3時

B.「今日の16時に、○○スーパーへ買い物へ行きます」

買い物 16時
○○スーパー



- ◆漢字単語や数字で端的に書く
- ◆重要なところは、強調する(色ペン使用など)
- ◆相手の表情や反応をしっかりみる(理解の確認)

9

①『聞く』の対処法の具体例

表情や身振りも活用する

表情をつけずに言葉だけで、「お腹が痛いですか？」と質問する



お腹を押さえる身ぶりと痛そうな表情をつけて、「お腹が痛いですか？」と質問する



- ◆身振りは、話の要点だけでよい
- ◆まぎらわしい身ぶりは避ける
- ◆身ぶりだけでなく表情も大切

10

②言語症状『話す』

(前提:除外項目)

症状を正しく理解するために、下記の項目による
症状でないことを確認する

- ・発声ができない
- ・口唇や舌の麻痺などにより正確な発音ができない
- ・対象物を認識(理解)できていない
- ・記憶力低下のため何を話したらよいかわからない
- ・単語や文法の知識がない

11

②言語症状『話す』

こんな症状

「みかん」と言いたいのに

- ・言いたい言葉が出てこない(喚語困難)
- ・言いたい言葉と違う言葉を言う(錯語)



かんごこんなん



えっと…
あの…



りんご



みさん

対処法

※対処法の実例は次ページ~を参照

- ・先回りせず、ゆったりと待つ(聞こうという姿勢が大切)
- ・「はい」「いいえ」で答えられる質問をする
- ・選択肢(を用意して)から選んでもらう
- ・表情や身振りも活用する

12



喚語困難の場合、はじめの音(ここでは「み」)を言ってあげると出てくることがある。錯語は、「みかん」を「りんご」のように、似ているカテゴリーでの誤りと、「みさん」のように音の誤りの場合があるよ。音の誤りがひどいと「きねさ」のように、聞いても推測できないことも。違う言葉を言ったとしても、聞き手は無理に訂正せず、さりげなく確認する程度に留めておけるといいね。

『話す』の症状の場合、同じ言葉でも言える時、言えない時があるよ。言葉がうまく出なくても、相づちや感情表現、歌の歌詞などは比較的に出やすいということも知っておくといいよ。

②『話す』対処法の具体例

「はい」「いいえ」で答えられる質問をする



何を飲みますか？



コーヒーを飲みますか？

紅茶は好きですか？
お茶にしますか？ など

「はい」「いいえ」を声に出して言えない場合は、「うなずき」や「首振り」、紙に書いた○と×を指差してもらうなどが有効です。



◆質問は、広範囲から少しずつしぼりこんでいく

13

②『話す』対処法の具体例

選択肢(を用意して)から選んでもらう



何を食べますか？



洋食ですか？
和食ですか？

肉ですか？魚ですか？ など
調理方法や食材から絞っていく方法もよい



◆質問は、広範囲から少しずつしぼりこんでいく

14



言葉だけでなく、同時に絵や文字があるとより理解しやすい。

補足)言語症状『話す』の関連でよくみられる症状

ほぞく
保続(前に言った言葉を繰り返す)



保続は、前頭葉機能も影響しての症状である
保続は、発話以外にも、書字、描画、行為など様々な
場面で出現することがある

15



保続が出た場合は、少し休憩を入れたり、様子を見ながら話題を変えてみるとおさまることがあるよ。

補足)言語症状『話す』の関連でよくみられる症状

うげん
迂言(まわりくどい言い方)

例)「みかん」と言いたい時



言いたい言葉が出てこないこと(喚語困難)による、
二次的な症状として出現する

16

③言語症状『読む』

(前提:除外項目)

症状を正しく理解するために、下記の項目による
症状でないことを確認する

- ・視力の低下や見え方の問題
(見たものを絵にかけるか(模写))
- ・文字や文法の知識がない
- ・発声ができない
- ・口唇や舌の麻痺などにより正確な発音ができない

17

③言語症状『読む』

こんな症状

- ・文字を文字として認識できない
- ・文字の意味が理解できない
- ・文字を音に変換できない(音読ができない)
- ・音読ができて、意味が理解できない
- ・長くて複雑な文の構造が理解できない

対処法

- ・要点を簡潔に書く
- ・長い文は、短く分けて書く
- ・実物、写真、絵を見せる
- ・聴覚的入力で補う(周りが文字を音読する)

18



日本語の場合、ひらがな、カタカナ(表音文字)と漢字(表意文字)の読み書きは、別々に障害されるよ。

④言語症状『書く』

(前提:除外項目)

症状を正しく理解するために、下記の項目による症状でないことを確認する

- ・手の運動機能の低下
- ・慣れているはずの道具をうまく使えない(失行)
- ・文字や文法の知識がない
- ・文章をまとめる力の低下
(前頭葉の機能なども関連する)

19

④言語症状『書く』

こんな症状

- ・書きたい文字が出てこない
- ・書きたい文字と違う文字を書いてしまう(錯書)

対処法

- ・先回りせず、ゆったりと待つ
- ・漢字の一部分(偏やつくり等)や音のヒントを出す
<書くことが難しい場合>
- ・「はい」「いいえ」で答えられる質問をする
- ・選択肢(を用意して)から選んでもらう
- ・実物、写真、絵を見せる

※利き手であった右手が麻痺で使いにくく、利き手交換をする(利き手を左手に変える)方もあり、文字を書くことに労力を要します。書かずに済む工夫も!



20



症状が軽い人の場合は、文章を書くことはできても難しい漢字が思い出せない、助詞の誤り、濁音や拗音が抜けること(例えば「ぶどう」を「ふとう」)などがあるよ。

対処法の「音のヒントを出す」は、例えば「りんご」と書く時に、「り」と音のヒントを出すといいよ。また、「鉛筆」と書くのに、「筆」が出ない場合は、「ふで、という字ですよ」と別の読み方を伝え、書けることがあるよ。

補足)失語症と一緒に起こりやすい症状

数・計算能力の低下

(左頭頂葉で障害されやすいが、数字と言葉の処理が同じ仕組みになっているかは実はまだわかっていません。)

こんな症状

- ・情報の保持が難しい(ワーキングメモリーの低下)ため、暗算が難しい
- ・繰り上がり、繰り下がりの計算が難しい
- ・数字の聞き間違い、言い間違いが生じる(電話番号、金額、時間、日付など)
- ・九九を思い出せない



対処法

- ・数字は聞くだけではなく、目で見えて確認する
- ・計算が苦手な場合、電卓(スマートフォンの電卓機能)を使用
- ・筆算は情報の保持が不要のため、暗算よりやりやすいことが多い

21



数字に関しては、失語症の方が話した内容を書き示して確認したり、こちらから伝える時はメモを渡す方がいいね。計算以外でも、数に関して道具で代用できることは、どんどん道具を活用する方がいいよ。(スライド 30 参照)

補足)失語症と一緒に起こりやすい症状

こんな症状

- 右半身麻痺
- 視野障害
- 右半側空間無視

対処法

- 転倒のリスク管理
- 適切に声掛けをする
- 立ち(座り)位置の工夫
- 首振りの習慣
- 見やすい位置に置く



※右半側空間無視の場合は、左側によせると注意が向けやすい

22



視野障害は、人それぞれ見えにくい場所が違うんだ。例えば、右側が見えにくい人は、なるべく左側に対象物がくるように立つ(座る)などの工夫をするといいよ。また、その人にとって対象物を捉えやすい位置に、しっかりと首や体を動かして見る習慣を身につけることも大切だよ。

(2) まとめ ～コミュニケーションの工夫～

最後に、失語症の方とコミュニケーションをとる上での工夫について、もう一度おさらいするよ。



23

そもそも、会話の目的は何でしょう？



お互いが伝え合い、意思疎通を図り
お互いの存在を、認め合うことが目的

では、相手に伝える方法は？



言葉以外(話さない)の工夫ができれば、失語症の方
にとっての負担は減ります。

24

普段のコミュニケーションを振り返ってみると・・・

例えば、夫婦や親子の「あれ、とって！」→「あ～、あれね。」のように、キーワードとなる言葉が出なくても、意思疎通が可能なことがあります。



お互いの生活や行動のパターンをよく知っていれば、言葉に頼る部分が減るということ。

日々の生活でよく使う些細なやりとりが伝わらないということは、失語症の方にとって、とてもストレスのかかることです。言葉の負担を減らすために、相手のことをよく知っておくことが大切です。

25

話さなくても伝わる工夫の具体例

毎日の生活の中での決まり事は見える形に



絵カードを作成し活用することで、やりとりがスムーズになる

会話ノート

自己紹介(家族構成など)、体調管理、生活関連、趣味など、失語症の方が日常でよく使うものや必要なものをまとめたオリジナルのノート

それぞれの項目ごとに、図や写真を貼ったり、数字や文字、絵などをかいたり工夫して作成していきます。

26



「会話ノート」を活用することで、失語症の方との会話が広がり、その方をよく知るきっかけにもなるので参考にしてみてください。

環境調整について

- ◆落ち着いた雰囲気です静かな場所
- ◆お互いの表情や口の動きが見える場所
- ◆しっかり視線を合わせてから会話をする
例)相手の名前を呼んで、注意を向ける など
- ◆なるべく1対1で話せる環境を作る

27

コミュニケーションの取り方

- ◆余裕をもって、接する
(「先回りせず、ゆったりと待つ」を心がけて)
- ◆ゆっくりと、はっきりと話す
- ◆わかりやすい言葉で、簡潔に短く話す
- ◆話題を急に変えない
- ◆伝わっていない時は、繰り返す、または別の言い方で言う、または書く
- ◆会話の工夫や様々な道具を活用する

28



丁寧な対応を、ということで敬語を使うことがあるかもしれないけど、失語症の方にとっては、敬語は逆にわかりにくいことがあるよ。

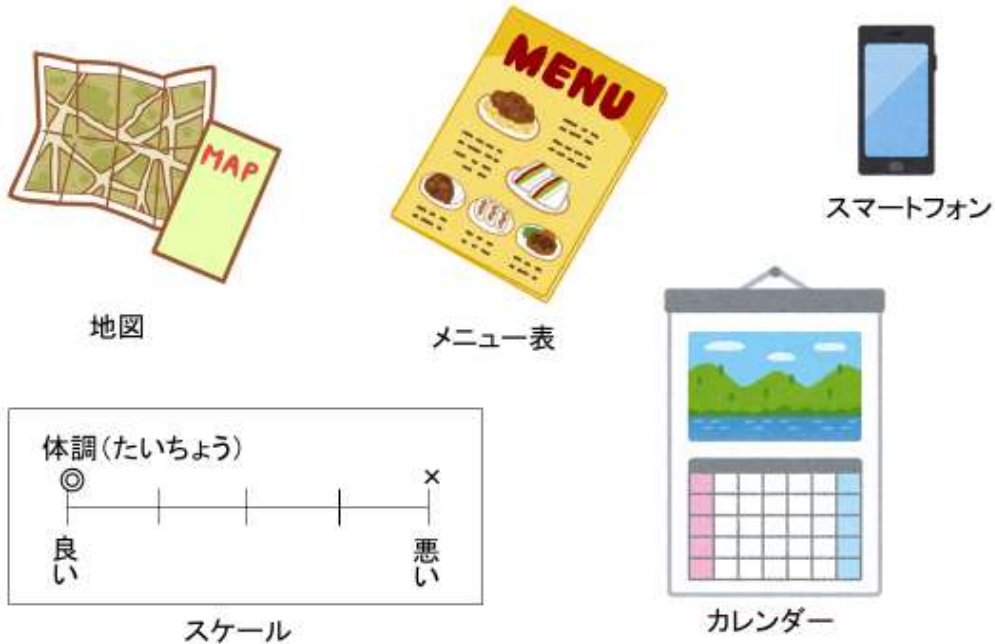
例えば、「〇〇を召しあがられますか？」よりは、「〇〇を食べますか？」の方がわかりやすいよ。

会話の工夫

- ◆質問の方法を工夫する
(「はい」「いいえ」で答えられる、選択肢から選ぶなど)
- ◆表情や身振りも活用する
- ◆文字、絵、写真、実物も見せる

29

コミュニケーションを助ける様々な道具



30



地図や写真があると、場所の確認や旅行の話題に便利。食べ物の話題には、メニュー表。日付や時間の確認には、カレンダーやスマートフォン。体調や感情などの度合いを知るために、スケールを作成して指で示してもらってもいいね。写真や絵、新聞やチラシなどもコミュニケーションを助ける道具になるよ。

間違いやすい対応例



- ◆ 幼児に接するような話し方や対応をする **×**
「わかりやすい言葉」と聞いて、小さい子どもに対するような話し方を
する人がいますが、子ども扱いするのではなく、普段から使っている言
葉を使用しましょう。
- ◆ 大きな声で話しかける **×**
失語症の「聞く」の症状は、耳が聞こえにくい(聴力障害)とは異なり
ます。
- ◆ 50音表を使用する **×**
50音表を使用する時は、「言いたい言葉を思い浮かべる」「その言葉
を発音順に1音ずつ音を思い浮かべる」「思い浮かべた音に合った文字
を50音表から探し出す」といった工程を要しますが、失語症の方にとっ
てはとても難しい作業です。
- ◆ 手話を使用する **×**
手話は身振りを高度にした「言語」のため、新しく覚えて使うのはとて
も難しいことです。

31

お疲れ様でした～。
入門講座4のダウンロード版は、これで終了。

次は就労準備について見ていくよ。

ご不明な点は、
京都市高次脳機能障害者支援センター
(もしくは各地域の高次脳機能障害支援拠点)
に相談してね。



32



京都府言語聴覚士会 <http://www.rst.kyoto.jp/>

京都府言語聴覚士会のホームページに、失語症応援ガイドブックが掲載されてるよ。

ガイドマップの中には、失語症の当事者の会の連絡先などが紹介されてるので参考にしてみてね。

また、京都市地域リハビリテーション推進センターでは、失語症に関する相談もしているよ。

[「失語症のある方の相談事業」](#) [「おはなし広場」](#)